

---

# 霧姫の恋

癒得

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

霧姫の恋

### 【Nコード】

N5537D

### 【作者名】

癒得

### 【あらすじ】

ある少女がある男に恋をするお話し。

(前書き)

文章がへたくそで読みにくいかもしれません。ご了承くださいm  
——) m

私に・・・好きな人が出来た。

初めて人を好きになった。

出合いは高校の学校見学の時。

迷子になった私にやさしく道を教えてくれた。

たったそれだけなんだけど・・・それでも私は嬉しかった。

それからその学校に入る事に決めた。

その人と同じ学校で、同じ場所で時間を過ごせたらと思ったから。

名前も知らないあの人のために一生懸命頑張った。

それほど難しい高校でもなかったけど、いままでなんとなく中学に通って、高校もとりのあえず

行こうと思っただけだったから勉強をちゃんとしてなかった。

だから私にとっては難しかった。

時間がたって入試の日が近づいてきた。

こんなに頑張ったのはこれで2度目。

いつも私は誰かのために……

1度目もそうだった。

大切な人が喜んでくれたから、上達すればほめてくれたから。

でも大切な人はいなくなった。突然に。

だから頑張る事をやめた。

頑張って練習して上手くなった物は私の大切な人をもつ笑顔に出来ない、

だから私の嫌いな物に変わってしまった。

今度もそうなるかもしれない……

そして入試は終わった。

自信はある……でも……怖い……

日にちが経って結果が出た。勉強の甲斐あって合格。

あの人と同じ高校に通う事になった。

でも入学式から数日たっているのにあの人を学校で見かける事がなかった。

よく考えてみれば卒業している可能性もあるかもしれない。

私は・・・また・・・

数日で諦めるのは早いかもしれない。

でもここで諦めてしまった方が楽な気がする。

その時声が聞こえた。聞き覚えがある声。

今体育館では部活の話を新入生に対して、しているはず。

そこからあのやさしい声が聞こえた。

あの人は部活で部長をしていた。

しかも私が大切な人をもう笑顔にできないと嫌いになってしまった物を部活で扱っている。

嬉しかった。

そして私は決めた。あの部活に入ろう。

入れば私は変わるかも知れない・・・

それに・・・あの人を守りたい、もう大切な人を失いたくないから・・・

（後書き）

意味がわからないという人はすいません泣 実はちょっとした秘密が絡んでいてそれを表現したらこんなになりました泣 最後まで読んでいただいてありがとうございます。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5537d/>

---

霧姫の恋

2010年12月2日02時37分発行